

たくさんつくられ、たくさん捨てられる。 これは、本の話です。

日々、世の中ではたくさんの本がつくられています。思いを込めて生まれた本が、本屋にずらりと並ぶ。しかし、その裏側で、同じくらいたくさん本が古紙回収へとまわっている現状は、あまり知られていません。

MUJIBOOKSは、この本を取り巻く現状を、インターネットを中心に古本の売買を行う株式会社バリューブックスと出会うなかで、知っていきました。日本全国から本を仕入れ、またそれを日本全国へ届ける。彼らは毎日届く2万冊のうち、販売につながらない1万冊の本を古紙回収へとまわしています。しかし同時に、彼らはそうした本を活用する機会を模索し、様々な取り組みを続けていました。

MUJIBOOKSは本の持つ価値を信じています。

MUJIBOOKSは、「ずっといい言葉と。」をテーマに本のある暮らしを提案し、本の出版も手がけてきました。

インターネットでの販売がむずかしい本にも、まだ価値はあり、次の読み手が待っているはず。彼らの考えに共感し、MUJIBOOKSも「古紙になるはずだった本」という取組みとして販売を始めました。

どれも古紙回収にまわる直前だった本たちですが、その価値は古びることなく、私たちの暮らしを豊かにする力を秘めています。

MUJIBOOKSは、本が直面する課題の解決と、本のある暮らしの提案を、丁寧に関わりつづけていくことに挑戦していきます。

協力：株式会社バリューブックス

長野県上田市に拠点を構え、インターネットを中心に古本の売買を行う。全国から買い取った本を、次の読み手へと繋げている。インターネットでの販売が難しく、買い取ることのできなかった本の活用を進める、「捨てたくない本」プロジェクトも実施。

捨てたくない本

<https://corporate.valuebooks.jp/sutetakunai-hon/>



古紙 はになる ずだった 本

売れない本は読めない本じゃない
せっかく本としてつくられたものは
最後まで本として読んでもらいたい
古紙になる本も読めるものがたくさんある
本はいつまでも読める
本をたすけること
本とくらすこと

MUJIBOOKS

古紙回収にまわる約1万冊の本を、 次の読み手へ。

日本全国からバリューブックスに集まる本は、1日約2万冊。
その半数の1万冊は、古紙回収へと回っていきます。

古本販売によって
次の読み手にわたる本

約 **10,000** 冊

1day

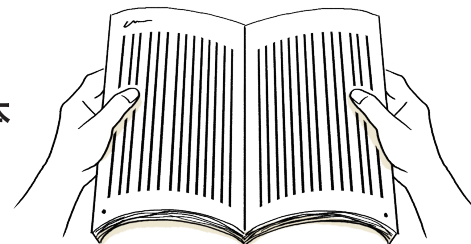
約 **10,000** 冊

インターネットでの販売が難しく、
古紙回収へと回る本



「古紙になるはずだった本」プロジェクトは
本が本として生きる機会をつくれます。

誰かが大切に読んだ本



その多くが古紙へと
変わってしまう



救いだした本を、
また人の手に

